

学会部門情報

重点研究募集要項

本会学会部門では大学等における鉄鋼研究の活性化のため、今年度から重点研究制度を発足することになりました。今年度は下記要領にて募集することになりました。応募希望者は10.まで応募申込書をご請求下さい。

- 1. 研究の目的：**重点研究制度で行う研究は、基礎的・基盤的な研究課題で、将来の鉄鋼技術への波及効果が大きいと考えられる重要テーマの調査・研究とする。
- 2. 公募資格：**(1)研究の目的に該当する研究テーマを提案した日本国内の大学またはそれに準ずる研究機関に属する個人またはグループ。(2)研究代表者および研究分担者は鉄鋼協会正会員であること。(3)本重点研究の研究経費を支給されている間は応募できない。(4)本会の鉄鋼研究振興助成金受給者は応募できるが、本重点研究に採択された場合は助成金が打切られる。
- 3. 研究期間：**2年以内。ただし、1年間の研究報告書作成期間を認める。研究開始時期は通常、年度始めとするが今回の募集に限り、研究開始時期は平成7年10月からとする。
- 4. 研究経費：**(1)1研究テーマあたり1500万円以下。ただし、重点研究の研究経費は、設備備品費、消耗品費、旅費、謝金を含む。(2)研究経費は各研究実施者に奨学寄付金として支給する。
- 5. 成果報告：**研究代表者は各研究実施者の活動内容および研究経費使用状況をまとめ、研究期間中の年度末毎に学会部門会議に報告する。研究期間満了後は、研究成果報告会を開催し、研究結果報告書を学会部門会議に提出する。
- 6. 応募要領：**(1)応募締切：平成7年8月21日(月)
(2)応募方法：応募者は本会所定申込書に研究テーマ名、代表者名、所属、研究実施者、研究の目的、研究実施計画、研究予算、研究業績などを記して下記まで申込み下さい。
- 7. 選考：**(1)応募された研究テーマは、学会部門会議で採否および研究計画を決定する。(2)年間の採用テーマは2件以内とする。(3)採否の審査は部門会議委員と数名の委嘱委員で行う。
- 8. 交付決定通知：**採用が決定した時は応募者に通知するとともに、研究テーマ名、研究者名、研究期間、交付金額を会誌に掲載する。
- 9. 提出書類・内容の取扱い：**(1)提出書類は返却しない。(2)応募された内容は公開しない。
- 10. 申込み・問合せ先：**
(社)日本鉄鋼協会 学会部門事務局 重点研究担当 藤原裕美子
〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL(03)3279-6021 FAX(03)3245-1355

社会鉄鋼工学部会 フォーラムの発足と参加へのご案内

社会鉄鋼工学部会 部会長 中島浩衛

「社会鉄鋼工学部会」の設置目的は、過去・現在・未来を通して鉄鋼産業あるいは広く金属素材産業と社会の関わりを重視する視点から、後述する幾つかの対象領域並びに現象に関する各種課題について研究、調査、分析、討論、情報交流などを行い、その成果を本協会会員を始め広く社会に提示するとともに、必要に応じて提言の実践母体となり、「豊かで調和のとれた社会」の実現をめざして積極的に活動することです。

この目的を達成するために、重要と思われる幾つかの分野を取り上げ、フォーラムを設置致します。フォーラムでは年数回の事例発表、討論、勉強会等の活動を行う予定です。フォーラムの設置期間は3年とし、3年毎に見直すことにしています。また、フォーラムには運営費が部会から支給されます。

平成7年度には、次の四つのフォーラムを設置致します。本部会登録会員の方々には、フォーラム等に積極的に参加され、その中核となって、あるいは一員として活動されることが強く望まれます。上記フォーラムでの事例発表、討論、勉強会等参加を希望される方は、下記にて平成7年7月31日までにお申込み下さい。なお、申込み対象者は、原則として本部会登録会員としますが、それぞれの分野に強い関心を持ち、積極的に参加を希望される非登録会員の方々のご参加も歓迎致します。(複数参加可、但し優先順位をお知らせ下さい。)

A. 「鉄鋼の技術と社会動態」フォーラム

座長 児玉文雄 (東大)

本フォーラムは、鉄鋼技術の継続的発展を可能とする開発経済、鉄鋼技術と社会動態の関わりなど、鉄鋼産業が進むべき方向、目標、理念な

どを取り上げる。具体的な研究・調査・討論テーマとして、次のようなものを予定している。

- 1) 鉄鋼産業の発展可能な生産方式と技術変革。
- 2) 発展途上国への技術移転、技術の空洞化問題等。
- 3) グローバリゼーション、ボーダレス化における国際分業、技術摩擦、産業技術比較論、科学技術政策論等。
- 4) 鉄鋼産業発展の歴史と経済、生活、文化、インフラストラクチャー。
- 5) 高度情報化がもたらす鉄鋼産業の変容等。

B. 「鉄鋼資源循環システムとエコロジー」フォーラム

座長 原茂太 (阪大)

本フォーラムは、ハードウェアを担当する高温プロセスなど他の部会等と連携を保ちながら、鉄鋼資源の循環システムの提案、鉄鋼を含む大規模産業における省資源、省エネルギーを可能とするシステム開発の手法など、環境調和型社会の構築のため素材産業の果たすべき理念、政策、開発目標の提案などを積極的に取り上げる。具体的な研究・調査・討論テーマとして、次のようなものを予定している。

- 1) 鉄鋼産業が推進すべき資源循環と有効利用、省エネルギーに関する技術的・社会的システムの提案およびその評価法。
- 2) LCAなど環境負荷評価の手法とデータベースの構築。
- 3) 環境調和型材料 (エコマテリアル) の設計技術。
- 4) 鉄鋼に関連する各種廃棄物の資源化、再利用および無害化技術。
- 5) 都市型製鉄所への新機能の付与と創エネルギー産業への転換等。
- 6) 鉄鋼技術トランスファーに伴う環境技術の転移の問題。
- 7) 環境調和型社会のために鉄鋼産業の果たすべき理念、役割、貢献、政策提案等。
- 8) グローバルエコロジー問題として、エネルギー消費と地球環境変化の分析。
- 9) 新しい素材製造システムの環境基準による評価手法等。

C. 「鉄鋼産業のリソースマネジメント」フォーラム

座長 松井好 (立教大)

本フォーラムは、鉄鋼産業発展のための知的環境整備、人材育成、技術体系の維持および高度化、またそれらを推進するための手段、システムなどを取り上げる。具体的な研究・調査・討論テーマとして、次のようなものを予定している。

- 1) 鉄鋼産業発展のためのリソースマネジメントの枠組みと推進体制。
- 2) 鉄鋼産業発展のための知的環境の整備、技術体系の維持と高度化。
- 3) 人材の育成、教育問題。
- 4) 技術の伝承、技術者の流動化。
- 5) 研究開発計画・技術評価等のR&Dマネジメント問題等。

D. 「鉄鋼法工学」フォーラム

座長 西田新一 (佐賀大)

本フォーラムは、鉄鋼技術と社会制度および法体系との関連などを取り上げる。具体的な研究・調査・討論テーマとして、次のようなものを予定している。

- 1) 鉄鋼技術と社会制度および法体系などとの調和を図るための方策。
- 2) 鉄鋼技術と製造物責任 (PL法等)。
- 3) 鉄鋼技術と知的財産 (特許法等)。

なお、本年の春季講演大会において、部会関連講演と併せて、「社会鉄鋼工学部会」の発足を記念して第1回シンポジウムが開催されました。

第1回 社会鉄鋼工学シンポジウム (東大, 4月4日 13:00~16:10) 「人間・社会との新しい調和を求めて」

1. テクノロジーイノベーションと経営技術 山之内昭夫 (大東文化大)
2. 独創性と経済性を生む研究開発マネジメント 松井 好 (立教大)
3. 環境を考慮した新しい材料開発 山本 良一 (東大)
4. 21世紀のための製造業・エコファクトリー 井上 英夫 (機械技術)

部会発足記念に相応しく、会場も満員となり、大変感銘深いシンポジウムでした。この分野の課題に取り組む本部会の発足が、極めて時機を得たものであり、本部会の活動成果への期待が大きいが感じられました。本シンポジウムの講演要旨は、小冊子として近く出版する予定です。なお、秋季講演大会においても、第2回社会鉄鋼工学シンポジウムを開催する予定です、現在企画中です。

申込方法

フォーラム参加を希望される方は、氏名・所属・役職・連絡先・電話・ファクシミリ・電子メール番号・参加希望フォーラム名

- | | |
|---------------------|--------------------|
| A. 鉄鋼の技術と社会動態 | C. 鉄鋼産業のリソースマネジメント |
| B. 鉄鋼資源循環システムとエコロジー | D. 鉄鋼法工学 |

を明記の上、ファクシミリあるいは郵送で、平成7年7月31日までに下記へお申込み下さい。

送付先: (社)日本鉄鋼協会 学会部門事務局 社会鉄鋼工学部会担当 植田紀代子

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 FAX (03)3245-1355 TEL (03)3279-6021